
活動の概要

このプロジェクトは、2014 年度から始まり、昨年に引き続きそれぞれで対象とするまたは興味を持っている「福祉」を考えて、メンバ内での福祉に関する認識を共有した。各自の対象は、オープンハウス、IAMAS2019 等で紹介をして様々なフィードバックをいただいた。これらは今後も行っていく予定である。

研究分担者：小林孝浩

プロジェクト研究補助員：篠田幸雄

M2：湯澤大樹

学内での活動

1 岐阜アソシアでの意見交換会

プロジェクト基礎の時間を利用して、昨年に引き続き

日時：2018 年 6 月 5 日（火）

場所：社会福祉法人 岐阜アソシア

視覚障害者生活情報センターぎふ



図 1 岐阜アソシアの触察用模型

2 プチ・オープンハウスでの展示

プロジェクトでの体験等を通して、それぞれが今後のテーマとして掲げた内容を展示し、来場者との意見交換を行う場とした。

日時：2018 年 8 月 4 日（土）

場所：IAMAS プロジェクト室



図 2 プチ・オープンハウスでの展示の様子

3 修了研究発表・プロジェクト研究発表での展示

2018 年度のプロジェクトでの各自のテーマやそれぞれの試作品等について展示を行って、フィードバック等を頂いた。

日時：2019 年 2 月 21 日（木）～24 日（日）

場所：センタービル 3F ソピアホール



図 3 プロジェクト研究発表での展示

4 学内ネットワークの検討

学内ネットワークを福祉の視点で捉え、ポリシーとしてこうあるべきではなどの提案内容を作成した。

学内外での活動

1 岐阜希望が丘特別支援学校でのワークショップ

学生の湯澤さんの活動として、児童たちの外出の機運を高めるためのワークショップを実施した。

昨年度より実施している活動で、今年度はサウンドワークショップ（2回）とハンドサイクル体験会を実施した。

実施日：2018年5月25日 サウンドワークショップ

2018年9月7日 サウンドワークショップ（2回目 7月6日延期分）

サウンドワークショップでは、児童たちが校舎内で聞こえる音を見つけて録音し、それを後からクラスのメンバーへのクイズとして出題するタスクを出した。そのため一風変わった音や馴染みのない音をなんとか探そうと校舎内を主体的に動き回る態度を見て取ることができた。

2018年11月2日 ハンドサイクル体験会

季節が寒いこともあり、校舎内での実施となった。小学部ではハンドサイクルの説明やハンドサイクルがどのようなところで利用されているかを説明した。中学部では、先生からの強い要望で、ギアの違いが漕ぐ力にも軽くなるなどを実体験できる授業とするなど、技術家庭も取り入れた内容を実施した。最後にハンドサイクルを体験してもらう時間を設けた。

場所：岐阜希望が丘特別支援学校

実施前にも数回の綿密な打ち合わせを実施したり、実施後にも担当された先生へインタビューを行うなど実施した。

2 岐阜盲学校との連携

篠田プロジェクト研究補助員が教材自作部の一環で onpu-card player を制作したので、岐阜盲学校で音楽の授業に利用してもらった。授業では、以前制作した音符カードと onpu-card player の両方を駆使したリズムのクイズを実施するなど生徒たちにとってわかりやすい楽しい時間となっていることを確認することができた。

実施日：2019年1月31日

場所：岐阜盲学校

実践してみて先生からさらにいくつかのリクエストをいただいたので、今後も対応を予定している。



図4 ハンドサイクル体験（プロジェクト研究発表会での体験）



図5 onpu-card player と音符カードを併用した授業